

## 30年1月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成30年 1月4日～ 30年1月15日

## 2. 調査実施方法

全国の国産材製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
1月分の回答企業数は10社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## ア. 国産材

## (1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/1月	2月	3月
入荷動向	スギ	25.0	8.3	16.7
	ヒノキ	△ 20.0	△ 10.0	20.0
	カラマツ	0.0	50.0	50.0
	トドマツ	0.0	50.0	50.0
消費動向	スギ	8.3	0.0	△ 8.3
	ヒノキ	△ 20.0	△ 30.0	0.0
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	50.0	50.0	50.0
在庫動向	スギ	33.3	16.7	33.3
	ヒノキ	△ 10.0	0.0	20.0
	カラマツ	0.0	50.0	100.0
	トドマツ	0.0	50.0	100.0

・スギ製材用原木の入荷動向は3カ月連続増加。ヒノキは1月、2月の減少から3月は増加に。カラマツ、トドマツとも1月の横ばいから2月、3月は増加に。

・スギ製材用原木の消費動向は1月の増加から2月は横ばい、3月は減少に。ヒノキは1月、2月の減少から3月は横ばいに。カラマツ、トドマツとも3カ月連続増加。

・スギ製材用原木の在庫動向は3カ月連続増加。ヒノキは1月の減少から2月は横ばい、3月は増加に。カラマツ、トドマツは1月の横ばいから2月、3月は増加に。

## (2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

品目	30/1月	2月	3月
スギ	8.3	0.0	8.3
ヒノキ	40.0	20.0	20.0
カラマツ	50.0	50.0	25.0
トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ製材用原木の価格動向は保合。  
・ヒノキは出材不足から強保合。  
・カラマツは強含み。  
・トドマツは横ばい推移。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

・12月末より若干入荷良くなるも価格は上昇。消費は1月以降もカラマツ、トドマツの製材需要は旺盛で2～3月まではやや増加の状況で推移する見込み。在庫は3月に向けて増加させるが、3月末在庫量は昨年を下回る見込み（北海道）。

・入荷は、スギ原木は4月頃まで少しずつ増やしていく予定。ヒノキ原木は横ばいか少し減少させていく予定。消費は製材稼働日数が決まっているため消費量はほぼ横ばい。在庫はスギ原木を増やし、ヒノキ原木は在庫が多いため少し減らしていく予定（中部）。

・ヒノキは1月の入荷が減る見込み。2～3月は天候にもよるが基本増加する見込み。消費は1～2月は若干少ないが3月から増やす予定。在庫は変動させない（中国）。

・当期のため出材減少の見込み。1～3月は当製材工場改修工事のため、原木消費は半減する（中国）。

・天候にもよるが、例年通り多量の出材は見込めるのではないかと（九州）。・天候不順、1～2月稼働日が少ないことから、入荷、消費ともやや減少（九州）。

## (原木価格)

・ヒノキ丸太は天候の問題などで出材量が減り、価格が上昇する予想。スギはヒノキほど買い気が無くほぼ横ばいの予想（中部）。

・ヒノキの原木価格は上がり基調（中国）。

・2月まではプレカット工場は仕事があるようなので、ジリ高傾向（中国）。

・全体的にスギ素材の不足感は続きそう。特に3mの柱材、4mの小丸太材（九州）。

・ヒノキは天井価格まで来て横ばい。厳しい（九州）。

## 30年1月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## (3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/1月	2月	3月
生産動向	スギ	8.3	0.0	0.0
	ヒノキ	△ 20.0	△ 30.0	△ 10.0
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	50.0	50.0	50.0
出荷動向	スギ	16.7	0.0	8.3
	ヒノキ	△ 10.0	△ 20.0	△ 10.0
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	50.0	50.0	50.0
在庫動向	スギ	△ 25.0	△ 8.3	0.0
	ヒノキ	△ 10.0	△ 10.0	0.0
	カラマツ	—	—	—
	トドマツ	—	—	—

・スギ製材品の生産動向は1月の増加から2月、3月は横ばいに。ヒノキは3カ月連続減少。カラマツ、トドマツとも3カ月連続増加。

・スギ製材品の出荷動向は1月の増加から2月は横ばい、3月は再び増加に。ヒノキは3カ月連続減少。カラマツ、トドマツとも3カ月連続増加。

・スギ、ヒノキ製材品の在庫動向は1月、2月の減少から3月は横ばいに。

## (4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		30/1月	2月	3月
スギ	柱角 KD10.5×3	20.0	10.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	8.3	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	10.0	10.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	0.0	8.3	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
	ラミナ	0.0	16.7	0.0
	ヒノキ	柱角 KD10.5×3	10.0	10.0
柱角 KD12×3		10.0	10.0	0.0
土台角 10.5×4		20.0	10.0	0.0
土台角 12×4		20.0	10.0	10.0
通し柱 12×6		16.7	16.7	0.0
ラミナ		12.5	12.5	12.5
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
〃 梱包仕組み板	0.0	0.0	100.0	
〃 ラミナ	0.0	0.0	100.0	
トドマツサンギ	—	—	—	

・製材品の出荷価格動向は、スギ柱角KD10.5×3と母屋角はやや強含み。その他の品目は横ばい推移。

・ヒノキは総じて上がり基調で、土台角10.5×4、12×4はやや強含み。

・カラマツ製材品は梱包材、ラミナとも強含み。

## モニターからのコメント

## (製材品荷動き)

- ・生産は稼働日並。出荷は注文が多く昨年からの受注残を片付けていく状態。出荷は順調（中部）。
- ・1～2月の生産、販売動向は横ばいで、3月から増やす。在庫は変動させない（中国）。
- ・工場改修工事のため生産、出荷は3カ月連続減少。在庫は半製品在庫が増える見込み（中国）。
- ・相変わらず九州エリアでのスギKD材の動きは強く、まだまだ続きそうだ（九州）。
- ・1～2月は少々生産が減少する。出荷は順調に推移。

## (製材品出荷価格動向)

- ・製材価格は3～4月で改訂（上昇）予定（北海道）。
- ・ヒノキ製品価格は上がり基調（中国）。
- ・プレカット工場の忙しさがスギ、ヒノキの製品単価の上昇に比例していない（中国）。
- ・ヒノキ価格は横ばい。上昇を期待する。最小限5,000円/m<sup>3</sup>値上げ（九州）。

## 30年1月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

## イ. 外材

## (1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/1月	2月	3月
仕入動向	米マツ丸太	—	—	—
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
消費動向	米マツ丸太	—	—	—
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
在庫動向	米マツ丸太	—	—	—
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—

・NZラジアータ製材用原木の仕入、消費、在庫動向は3カ月連続横ばい推移。

## (2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

品目	30/1月	2月	3月
米マツ丸太	—	—	—
NZラジアータ丸太	0.0	50.0	50.0
北洋エゾマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ原板	—	—	—

・NZラジアータ丸太製材用原木の価格動向は強含み。

## モニターからのコメント

## (原木荷動)

- ・NZラジアータ丸太製材用原木の入荷、消費、在庫動向は国内輸出ともに堅調で変化なし。
- ・

## (原木価格動向)

- ・NZラジアータ丸太製材用原木の価格動向はFRT、灯油代上昇中。丸太は上昇気配。
- ・

30年1月分

## 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

## (3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/1月	2月	3月
生産動向	米マツ製材品	—	—	—
	NZラジータ製材品	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
出荷動向	米マツ製材品	—	—	—
	NZラジータ製材品	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
在庫動向	米マツ製材品	—	—	—
	NZラジータ製材品	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—

・NZラジータ製材品の荷動き動向は生産、出荷、在庫とも横ばい推移。

## (4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		30/1月	2月	3月
米マツ平角		—	—	—
米マツ正角		—	—	—
米マツ小割		—	—	—
北洋エゾマツタルキ		—	—	—
北洋アカマツタルキ		—	—	—
NZ梱包材(割板)		100.0	50.0	0.0
NZ梱包材(割角)		100.0	50.0	0.0
NZ土木用材		100.0	50.0	0.0
その他		—	—	—

・NZラジータ製材品の価格動向は梱包材(割板、割角)、土木用材とも1月値上げで強保合。

## モニターからのコメント

(製材品の荷動き)

- ・NZラジータ製材品の生産、出荷、在庫動向は国内輸出ともに堅調で変化なし。

(製材品出荷価格動向)

- ・NZラジータ製材品の出荷価格動向は1月より3,000円/m<sup>3</sup>の値上げを実施。